

米原歴史文化街道

米原市の歴史・文化財を歩く 142

伊吹山の本草学

―牧野富太郎と伊吹山①―

伊吹山は薬草をはじめ多くの植物が生ずることで古くから知られていました。

中国古来の学問で、植物が持っている医薬の効能を解明するものを本草学といいます。享保五年（一七二〇）、將軍徳川吉宗は薬草の栽培、採集を奨励し、国産品の開発に努めました。本草学者の丹羽正伯らに命じ、諸国で薬草を採集させ、各地に薬草園を開いて栽培を研究させました。

伊吹山にも同六年五月、丹羽正伯ら五人の本草家および御侍方植村左平次ら三人が同道して、人足五〇人を従えて採集登山をしました。その後、寛保三年（一七四三）四月にも採薬使植村左平次が薬草検分として伊吹山に登山していることが柏原宿の「萬留帳」に記載されています。

このころ、わが国の本草家は次第に博物学的傾向を帯びてきます。貝原益軒の「大和本草」（一七〇八）をはじめ、小野蘭山の「重訂本草綱目啓蒙」（一八四七）、飯沼慾齋の「草木図説」（一八五六〜六二）など、日本における近代植物学の礎となった著作には必ずといっていいほど伊吹山産の植物が多数紹介されています。

特に、日本の植物分類学が発達するに非常に役立ったとされる飯沼慾齋（一七八二〜一八六五）の「草木図説」には、伊吹山の植物が多数記載されています。慾齋は大垣の町医者で、文化元年（一八〇四）、本草学の大家小野蘭山に入門して植物の研究を始め、伊吹山（主に美濃側）を研究の場としました。顕微鏡を入手して精密に観察し、スウェーデンの植物学者リンネの植物分類法を基に、わが国最初の近代的植物図鑑とされる「草木図説」を完成させました。これは、海外の研究者からもその高い学術性を評価されています。

また、日本最初の理学博士である伊藤圭介は明治六年（一八七三）「日本産物史」近江部上下を出版、その「薬品及雑草木類」の中に伊吹山産植物三二種を挙げ、そのうち二八種については図および記載を入れていました。伊吹山の植物が、近代植物分類学の黎明期に果たした役割はとても大きいのです。

そして、日本の近代植物分類学の創始者・牧野富太郎も、大正二年（一九一三）、飯沼慾齋の「草木図説」を基に「増訂草木図説」を編集し、慾齋を「始メテ我邦人ノ學術的ニ草木ヲ分類記載セルモノ」と評価しています。

文久二年（一八六二）、土佐国高岡郡佐川村（現高知県佐川町）の造り酒屋の一人息子として生まれた牧野富太郎が、伊吹山に初めて足跡をのこしたのは、明治二四年（一八八一）一九歳のときです。上京した富太郎は帰路、単身伊吹山に向かいました。少年期から小野蘭山の「本草綱目」などに親しんだ富太郎は、そこに多くの植物が登場する伊吹山に登り、「ふもとの宿にもどると、わたしは、夜おそくまで標本づくりに熱中しました」と述べています（「植物採集のすすめ」）。牧野富太郎植物記（八）。次回、牧野富太郎と伊吹山について紹介します。（歴史文化財保護課）

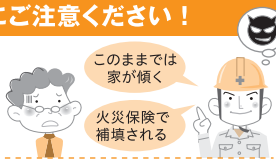


▲飯沼慾齋が植物研究をした平林荘跡（大垣市）

消費生活相談コーナー

自然災害後の便乗商法にご注意ください！

台風や地震の後に、被害への不安をあまり高額なリフォーム代を請求する業者や、補助金が出るとだまし修理をすすめる便乗商法に注意してください。



消費生活相談員より一言

契約前に、複数の業者から見積もりをとりましょう。特に公的な補助金や火災保険については業者の話のうちのみならず、事実確認をしましょう。

「おかしいな」と思ったら一人で悩まず、まずは消費生活相談窓口へご相談ください。

市 消費生活相談窓口（米原庁舎）
相談専用 ☎52-8088
〔受付〕平日9時30分～16時

【米原警察署情報】 問 米原警察署 ☎52-0110

秋の全国交通安全運動開催 9月21日(金)～30日(日)

9月30日は
交通事故死ゼロを目指す日

◆ 事故のない安心・安全なまちを目指して ◆

- ・子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ・夕暮れ時と夜間の走行中、自転車乗車中の事故防止
- ・全座席のシートベルト、チャイルドシートの着用徹底
- ・飲酒運転の根絶に努めましょう！



平成30年市内交通事故数（7月末時点）

件数 54件（-28件）、死者 0人（±0人）
傷者 71人（-28人） ※（ ）内は前年比